

**令和 6 年度
福岡市総合図書館の運営に関する評価**

**令和 7 年 1 2 月
福岡市総合図書館**

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

任期（令和7年8月1日～令和9年7月31日）

（五十音順）

氏 名	所属等
上村 篤子	福岡市総合図書館運営審議会委員 （社会教育関係）
片山 礼二郎	公益財団法人九州経済調査協会 B I Z C O L I 館長
白川 義人	福岡市総合図書館運営審議会委員 （家庭教育関係）
白根 恵子	福岡市総合図書館運営審議会委員 （学識経験者）
田中 優	福岡市総合図書館運営審議会委員 （本市の住民）

○新ビジョン事業計画一覧表

図 書 館 像	項 目		内 容	内部 評価	外部評価
誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	1	分館の新設	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		2	貸出・返却拠点等の新設	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
	利用時間の見直し	3	休館日、開館時間の見直し	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
	図書館イベントの充実	4	図書館イベントの充実	A	A(4)B(1)C(0)D(0)
	快適な空間づくり	5	快適な空間づくり	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	6	資料収集の充実	B	A(2)B(3)C(0)D(0)
		7	レファレンス(相談)サービスの充実	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
		8	課題解決型支援の充実	A	A(4)B(1)C(0)D(0)
	地域読書活動への支援	9	団体貸出先の拡大	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
		10	地域読書活動への支援	A	A(3)B(2)C(0)D(0)
	市関連施設の図書室 の相互協力	11	市施設の図書室との相互協力	A	A(4)B(1)C(0)D(0)
子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及	12	モデル児童図書目録の配布	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		13	子どもの貸出カード作成推進	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		14	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化	A	A(3)B(2)C(0)D(0)
		15	読書活動ボランティア講座の強化	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
	学校図書館への支援	16	学校図書館支援センターの充実	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の充実	17	図書館外施設での映像資料上映事業	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		18	資料展示事業	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
	文書資料部門の充実	19	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		20	文学館の利用拡大	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	21	運営方法の検討	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		22	図書館ボランティアとの共働の推進	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
		23	職員の育成及び技術向上	B	A(2)B(3)C(0)D(0)
		24	施設の有効活用などによる財源確保	B	A(4)B(1)C(0)D(0)
	情報発信の推進	25	情報発信の推進	A	A(4)B(1)C(0)D(0)

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判 定	評 価 内 容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念						
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館						
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。						

成 果 指 標						
成 果 指 標	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【令和7年度:90%】	—	85.4% (-)	89.7% (+4.3)	89.9% (+0.2)	90.5% (+0.6)	90.1% (-0.4)
参考:総合図書館開館日	271日	246日	221日	288日	291日	278日
※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした ※()は前年度からの増減 ※令和元年度は利用者アンケート調査を実施せず。						

目 標 数 値						
目 標 数 値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①入館者数 【令和7年度:3,500千人】	2,627,641人	1,640,847人 [-986,794] [-37.6%]	1,543,636人 [-97,211] [-5.9%]	2,215,702人 [672,066] [43.5%]	2,384,703人 [169,001] [7.7%]	2,230,054人 [-154,649] [-6.5%]
②個人貸出冊数 【令和7年度:4,800千冊】	3,958,372冊 [-150,601] [-3.7%]	3,251,539冊 [-706,833] [-17.9%]	3,108,085冊 [-143,454] [-4.4%]	3,923,418冊 [815,333] [26.2%]	3,884,860冊 [-38,558] [-1.0%]	3,552,997冊 [-331,863] [-8.5%]
③貸出利用者数 【令和7年度:1,400千人】	1,178,884人 [-35,518] [-2.9%]	949,860人 [-229,024] [-19.4%]	897,574人 [-52,286] [-5.5%]	1,156,751人 [259,177] [28.9%]	1,169,152人 [12,401] [1.1%]	1,085,597人 [-83,555] [-7.1%]
④新規登録者数 【令和7年度: 30千人】	22,528人 [-2,184] [-8.8%]	16,558人 [-5,970] [-26.5%]	18,648人 [2,090] [12.6%]	21,363人 [2,715] [14.6%]	23,831人 [2,468] [11.6%]	25,528人 [1,697] [7.1%]
※[]は前年度からの増減。 ※コロナ関連の臨時休館 総合図書館のみ 令和2年2月27日から同年3月20日まで 総合図書館及び分館 令和2年4月4日から同年5月25日まで 総合図書館及び分館 令和3年5月12日から同年6月20日まで ※工事に伴う長期休館 南図書館 令和3年1月5日～令和4年8月26日 博多南図書館 令和6年2月29日～同年10月31日 ※図書館システム更新による臨時休館 総合図書館及び分館 令和6年9月17日～同年9月30日						

内 部 評 価	事業別評価	
<評価> 成果指標である「図書館サービスの満足度」は90.1%と前年度と比較して僅かに減少したものの、目標の90%を超えることができた。入館者数、個人貸出冊数、貸出利用者数は前年度と比較して減少した。新規登録者数は前年度と比較して増加した。図書館システムの更新に伴う臨時休館により、開館日数が減少したことが影響したと想定される。 事業別評価については、前年度と比較して推進できた事業が多かったため、A評価が多くなっている。(R6ND:A評価 13事業、B評価 12事業、C評価 0、D評価 0) <対応> 令和7年度までを取組期間とする福岡市総合図書館新ビジョンの推進に向けて、目標数値の達成は難しい状況であるが、サービスの向上を目指し、着実に計画的に事業を実施していく。また、令和6年度から検討を進めている次期基本的運営方針となる福岡市総合図書館ビジョン(第2次)の策定に向けて取り組みを進めていく。	A評価	15事業
	B評価	10事業
	C評価	—
	D評価	—

外 部 評 価

- ・「図書館サービスの満足度」は、90%を超えており、利用者に対する図書館の努力がうかがえる。
図書館を利用していない層に、図書館の良さをどう伝えるか、難しいことだが、地道に取り組まねばならないと思う。
目標値の設定について、現在はすべて実数で設定されているが、一部比率で設定しても良いのではないか。個人貸出については、市民一人あたりの貸出し冊数(貸出し総冊数÷人口)を算出して、前年度が2.3冊であれば目標値を2.5冊にするなど。
- ・利用者の満足度や25事業の評価を積み上げると今年度の評価は「概ね良好」との評価となった。
しかしながら、個人的には業務全体の重点が分かりにくい評価方法と感じる。
現在の図書館事業全体の最大の課題は「利用者の拡大(入館者以外も含む)」であると考えますが、その課題の認識とそれに対する対策、またその進捗状況がストレートに前面に見えてこないからである。
また報告には定性評価要素が多く、記入者の価値観が全体に共有されているのかどうかを含め、疑問点が残った。この評価方式を採るのであれば、難しい点はあっても、定量評価を前提に記入すべきと考える。
- ・あまりKPI(目標)を立てるべきと言いつたことはないが、行政評価を行う立場として、ある程度、各事業について活動目標的な指標がないと評価しづらい点があるのは否めない。
実際に各事業の評価表からは、効率的効果的に事業が遂行されていると表現されているが、外部委員の立場では、「そもそも当初の目標がどれほどのレベルなのか」と考えてしまわざるを得ない。
こうした外部評価は、内部の職員や指定管理者との間で、どうしても情報の非対称性が生じてしまい、外部評価をする立場にある者は常に「適正な評価ができていないのか」という懸念を抱く。それは評価される側から不幸な事態を招きかねない。すなわち、「外部委員は内部の事情をよく分かっていないから、不当に過小評価されすぎている」という懸念である。
こうした、評価者と被評価者とが不幸な関係性に陥らないために、KPIやその設定根拠なども開示する必要があるように思われる。また、それができなければ、活動指標の推移を時系列でみられるようすべきだと考える。
- ・地道な取り組みを継続され、満足度が90%を超えていることは高評価である。
一方、リニューアルに伴う長期休館によると思われるが、今年度は来館者数、貸出冊数ともに減少しており、リニューアル後の魅力あるイベント企画に期待している。
満足度90%は図書館が好きな利用者の満足度であり、その枠の外の新たな図書館ファンの獲得には到っていない。公共図書館という制約もあるが、その可能な範囲で、集客の見込まれる人気のある美術展やイベントとのコラボなどに、着手する時期に来ているのではと思われる。
- ・令和6年度における福岡市総合図書館の運営について、内部評価の内容を精査した結果、概ね計画通りに進捗しており、大きな課題は見受けられないと評価する。特に、利用者満足度については、目標値90%に対して、令和5年度・6年度ともに90%前後の水準を維持しており、利用者のニーズに的確に応えられていることが示されている。また、開館日数についても年度ごとに安定した推移を見せており、市民が安心して利用できる環境が着実に整備されていると認められる。
加えて、図書館ビジョンに掲げられている「市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点」という理念が、具体的な運営を通して具現化されつつある点も高く評価する。
利用者の多様なニーズに対応する資料提供、生涯学習機能の充実、快適な空間づくりといった取り組みは、市民にとって身近で信頼できる文化拠点の役割を果たしていると感じる。
一方で、図書館の役割や価値は時代とともに変化しており、今後も電子資料の充実やデジタルリテラシー支援、世代や属性を超えた交流の促進といった新しいニーズが生まれることが予想される。これらに柔軟に対応しながら、より多くの市民が「自分の居場所」と感じられる場づくりを目指してほしいと考える。
最後に、このような成果は、日々現場で利用者に向き合い、サービスの質向上に努めておられる職員の方々と関係者のご尽力の賜物であることを強調しておきたいと思う。多くの人に開かれた図書館を支えている皆様に、心から感謝する。今後も市民の期待に応える図書館運営が継続されることを強く願う。

事 業 別 評 価

委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価	14	A評価	18	A評価	16	A評価	13	A評価	18
B評価	11	B評価	7	B評価	9	B評価	12	B評価	7
C評価	0	C評価	0	C評価	0	C評価	0	C評価	0
D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0

＜評価の基準＞

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判 定	評 価 内 容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項 目	図書資料の貸出・返却拠点の新設
内 容	分館の新設		
事業計画	早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	【早良南図書館】開館準備	◇開館	
令和6年度			
計画	<p>新たに整備が検討されている南区地域交流センター(仮称)の基本構想の策定に併せて、設置が想定される分館の運営方針やコンセプト等の検討を行う。</p> <p>また、令和7年度中頃に予定されている中央市民センターの大規模改修に併せて、中央図書館の書架配置の見直しなど、より良い分館づくりに取り組む。</p>		
取組状況	<p>南地域交流センター(仮称)については、市民局において令和6年12月議会で整備候補地の選定が報告されたことから、施設全体の基本構想(案)の議会報告にむけ、報告を行う市民局と報告内容の調整を行った。</p> <p>中央市民センターの大規模改修については、基本設計を行う市民局と調整を行い、中央図書館は、開架書架等の配置を見直し、閲覧スペースや通路幅の拡張、地下に閉架書庫を新設するなど、図書館機能の拡充を盛り込んだ。基本設計は、令和6年9月議会総務財政委員会にて、市民局において報告を行った。</p>		
令和7年度			
計画	<p>南地域交流センター(仮称)の市民局による基本構想の策定に併せて、設置が想定される分館の運営方針やコンセプト等の検討を行い、新たな分館の基本計画案の検討を進める。</p> <p>また、中央図書館の大規模改修に伴う長期休館に向けて、蔵書資料の移動作業を含め、休館中の円滑な対応を図る。</p>		
内 部 評 価 (令和6年度)			
<p>南地域交流センター(仮称)においては、図書館分館設置の方向で、市民局と協議を進めることができた。</p> <p>また、中央図書館リニューアルについては、関係部署等との協議により、当方の意向を反映した基本設計が策定されたこと、また、休館中の対応等具体的な協議を実施したことなどから、A評価とする。</p>			A
外 部 評 価 (令和6年度)			
<p>・A評価で問題ないが、分館の規模をもう少し拡大してほしい。</p> <p>・計画通りかつ十分な内容と考える。</p> <p>・新設の施設に図書館分室設置の方向で協議されていること、中央図書館リニューアルについても順調に進んでいる点は高評価。今後、市の施設のリニューアルや新設の際に図書館スペースを少しでも拡げる計画を望む。</p>			<p>A : 5</p> <p>B : 0</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

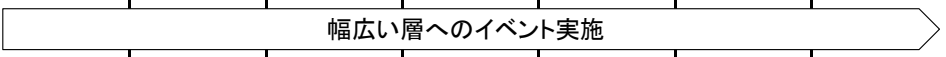
令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館		項 目	図書資料の貸出・返却拠点の新設			
内 容	貸出・返却拠点等の新設						
事業計画	利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	検討、協議						
			◇設置				
令和6年度							
計画	既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との実現に向けた協議を進める。						
取組状況	<p>貸出・返却拠点の設置について、貸出拠点が目標15地点に対し現在14地点、返却拠点が目標27地点に対し現在26地点のため、関係部署、関連民間企業等と新たな拠点になりうる場所の協議・検討を継続した。</p> <p>返却拠点については、民間企業と協議・検討を重ね、令和7年度に天神北に新たな返却ポストの設置することで協議が整った。また、令和7年10月からの中央市民センター改修に伴う中央図書館休館期間に、隣接する中央体育館へ返却ポストの移設の許可を得た。</p>						
令和7年度							
計画	<p>引き続き、既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との実現に向けた協議を進める。</p> <p>返却拠点については、天神北地区へ返却ポストを新設するとともに、中央図書館の休館中は返却ポストを中央体育館へ移設する。</p>						
内 部 評 価 （令和6年度）							
<p>新たな返却拠点の設置については、天神北地区に費用を最小限に抑えた形で具体的な設置場所の確保をすることができた。また、休館する中央図書館の返却ポストについて、隣接する中央体育館への移設に向けた協議が整ったため、B評価とする。</p>							B
外 部 評 価 （令和6年度）							
<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ目標数値の達成がなされたと考える。 ・拠点設置の基準、市の施設や民間施設への設置においてハードルとなっている点は何か。その課題解決にむけた方策の検討はどうなっているのか。 ・福岡市の人口に対して、貸出拠点とも、目標値そのものが少ないのではと考える。 							A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館		項 目	利用時間の見直し			
内 容	休館日、開館時間の見直し						
事業計画	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	【休館日】						
	検討	段階的に実施					
	【開館時間】						
	検討	段階的に実施					
令和6年度							
計画	無作為抽出された多数の市民を対象とした「市政に関する意識調査」のテーマの一つとして、図書館に係る幅広い意見を聞き、利用していない、利用が少ない層の利用促進に向けた分析を行う。						
取組状況	<p>令和6年度「市政に関する意識調査」において、図書館をテーマにして様々な質問を行い、年齢別、性別だけでなく、利用頻度別などでの分析を行った。</p> <p>「図書館を利用したい時間帯について」の質問では、「どの時間帯でも利用しない」が26.1%と最も高く、次いで、総合・分館にかかわらず、「平日の13時から18時まで」が17.5%、「平日の10時から13時まで」が15.9%という結果であった。利用頻度別で見ると、『利用しなかった』人では、「どの時間帯でも利用しない」が38.3%と最も高く、次いで、「平日の13時から18時まで」が13.6%、「平日の10時から13時まで」が12.8%となった。</p> <p>「過去3年間の図書館の利用状況について」の質問で、「利用しなかった」が64.7%と最も高く、また「図書館を今以上に利用しない理由、利用しない理由について」の質問では「借りに行ったり返しに行くのが面倒」が30.4%と最も高く、「利用したい時に開いていない」は3.0%であった。</p>						
令和7年度							
計画	利用者アンケートや統計情報等により現状分析を行い、継続的に検討を行う。						
内 部 評 価 （令和6年度）							
令和6年度は市政に関する意識調査を実施し、普段図書館を利用していない市民の意見を聴き、現状分析や課題の整理を行ったが、休館日や開館時間の見直し検討には至っていないことから、B評価とする。							B
外 部 評 価 （令和6年度）							
<ul style="list-style-type: none"> ・課題の抽出は行われたが、その結果としての対応策の展開は今一步と考える。 ・重要なのは分析結果を踏まえた対応策。拠点新設とも繋がるが、この「利用しない」層の地理的な分布と拠点の配置に係り性は認められたのか。今後は、アンケートをより詳細に分析した結果に基づく施策展開を検討されたし。 ・立地や利用者層を考慮し、各館ごとに柔軟に考えて進めてほしい。 							A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館		項 目	図書館イベントの充実			
内 容	図書館イベントの充実						
事業計画	<p>子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの講座など、幅広い層に向けて多様なイベントを実施し、これまで図書館を利用していなかった層への訴求や、参加者の満足度の向上を目指し、引き続き、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。</p> <p>また、市の関連部署と連携したイベント、総合図書館の映像資料部門や文書資料部門、各分館との連携による企画を実施していきます。</p>						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<div style="text-align: center;">  </div>						
令 和 6 年 度							
計画	<p>総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を毎年10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「絵本月間」、「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを企画・実施する。</p>						
取組状況	<p>「図書館のある暮らし」をテーマとした図書館マンスの展示、「こどもの読書週間」での「がいこくごおはなし会」、こども図書館での「おはなし会」の開催、SDGs関連本展示や起業・経営相談会など課題解決型支援を行った。</p> <p>こども図書館講座のYouTubeは第4回「福岡市動物園」を作成・配信し、図書館の活用促進を図った。</p> <p>12月の絵本月間では、各館においてさまざまな「おはなし会」、「絵本読み聞かせ講座」、工作、絵本展示などを行い、読書行事には合計2,311名の参加があった。</p> <p>高等学校ビブリオバトル福岡県大会(会場は例年総合図書館)では9校が参加し、高校生が「読みたくなる本」の知的書評合戦を開催、臨場感あふれるプレゼンテーションが繰り広げられた。</p> <p>また、中学生・高校生を対象としたSDGsに関するワークショップでは、グローバルな活動を行う大学生の発表の後、仮想の村の被災地復興について解決策を検討した(国連ハビタット福岡及び日本国連協会福岡県本部共催)。</p> <p>・読書行事等イベント 総合図書館、分館 1,178回、21,451人 (R5 1,041回、19,136人)</p> <p>・展示 総合図書館 134回 (R5 138回)</p>						
令 和 7 年 度							
計画	<p>総合図書館及び分館において、毎年10月の「図書館マンス」や、「絵本月間」、「読書週間」などを中心に展開し、同時に大人や中高生を対象としたイベントを企画・実施していく。</p>						
内 部 評 価 (令和6年度)							
<p>イベント開催回数及び参加者については前年度を上回った他、一部のイベントについてアンケートをとった結果、参加者からの評価も高く、また、イベントに関する図書を展示することで図書の貸出につながったことなどから、A評価とする。</p>							A
外 部 評 価 (令和6年度)							
<p>・令和6年度は、計画どおり実行されているが、「みんなが楽しめる…」ということなので、高齢者向けのイベントにも取り組んでほしい。</p> <p>・イベント展開の活性化により、参加者の満足度の向上を通じて図書館事業への関心の向上も期待できると考える。</p> <p>・「誰もが楽しめる魅力ある図書館」とあるが、男女問わず働いている層にリーチする対応は何かあるのか。難しいとは思いますが、市の施設で、働いている人が集うfgn(福岡市の官民共働型スタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」)やエンジニアカフェなどとの連携も考えられるのではないか。</p> <p>・幅広い層への魅力的なイベントを、今後も期待している。特に子どもたち向けのイベント開催の強化を望む。コロナ禍の空白の子どもたちへの影響は計り知れないものがあると感じている。</p>							<p>A : 4</p> <p>B : 1</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項 目	快適な空間づくり				
内 容	快適な空間づくり						
事業計画	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館(6カ月程度)にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<p>レイアウト等の検討</p>						
令和6年度							
計画	<p>全館空調設備更新工事及び駐車場整備工事を図書館運営への影響を最低限に抑えながら実施する。また、こども図書館及びビデオライブラリーのレイアウト変更を実施する。</p>						
取組状況	<p>全館空調設備更新工事については休館日や開館前の時間帯を活用、駐車場工事はエリア分けをして工事を行うことで、常に一定数の駐車台数を確保するなどして、図書館運営への影響を最低限に抑えながら実施した。</p> <p>こども図書館及びビデオライブラリーのレイアウト変更は、図書館システム更新に伴う臨時休館期間や、特別整理のための休館期間を利用し、実施した。</p> <p>こども図書館のレイアウト変更では、「えほんのひろば」をリニューアルし、保護者が読み聞かせしやすい環境を整え、また、子どもたちが自分で本を読んだり「調べ学習」を行ったりできるように、カウンターからの目が行き届く場所に、読書と学習のスペースを広げた。</p> <p>(ビデオライブラリーのレイアウト変更については、「18 資料展示事業」を参照)</p> <p>エントランス及び映像ホールの天井(特定天井)について、天井脱落対策として、市民利用への影響を最小限とする工法、工期を念頭に、関係部署と検討、協議を進めた。</p>						
令和7年度							
計画	<p>全館空調設備更新工事について、令和6年度に引き続き図書館運営への影響を最低限に抑えながら実施する。</p> <p>エントランス及び映像ホールの天井(特定天井)の改修工事について、基本設計を実施する。</p>						
内 部 評 価 (令和6年度)							
<p>全館空調設備更新工事については、資材調達の関係で令和7年7月まで工期が延長することとなったが、休館日や開館前の時間帯を活用しながら、図書館運営への影響を最低限に抑えて工事を実施した。駐車場整備工事及びレイアウト変更については、計画通り完了したため、A評価とする。</p>							A
外 部 評 価 (令和6年度)							
<p>・計画通りかつ十分な内容と考える。</p> <p>・特に無し。計画通り進捗している点を確認した。</p> <p>・過ごしやすい環境の整備、レイアウトの変更など、利用者のニーズに合わせて、今後も積極的に行ってほしい。</p>							<p>A : 5</p> <p>B : 0</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		さまざまな情報を求める市民に応える図書館			項 目	図書館サービスの充実		
内 容		資料収集の充実						
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。 また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。							
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	資料収集方針に沿った資料収集							
令和 6 年 度								
計画	総合図書館及び分館の収集方針に沿って、市民ニーズを捉えながら幅広く資料収集を行っていく。 電子図書館については、読み放題の児童向けコンテンツの期間限定導入など、利用者ニーズを踏まえたコンテンツの充実に努める。							
取組状況	総合図書館及び分館の収集方針に沿って幅広く資料収集を行うとともに、市民ニーズと蔵書構成を考慮しつつ、リクエスト対応や予約待ち人数が多い図書の複本購入等を実施した。また、寄贈図書についても随時申出を受付し、選書の上、受入を行った。 電子図書館については、紙での図書購入との適切なバランスをとりつつ、本館各部門、分館の読書相談員が分担して月替わりの特集テーマを設定し、幅広い市民ニーズに応えるためのコンテンツの収集を行った。更なる利用促進を図るため、児童向けの読み放題パックを令和6年度から試験導入した。 電子図書コンテンツ数: R6年度末 13,242点 ※内、児童向け読み放題151点(R5年度末 11,737点) また、幅広い収集資料の活用につながるよう、令和6年10月からの図書館システムの更新にあわせ、オンライン上でも所蔵本の再発見が可能となる、新たなサービスとして「蔵書探索AI」や「Web書棚」を開始した。							
令和 7 年 度								
計画	市民ニーズと蔵書構成のバランスを取りながら、収集方針に沿って購入及び寄贈ともに選書を慎重に行い、なおかつ予算を鑑みながら可能な限り幅広い分野の資料を収集する。 電子図書館は引き続き児童向けの読み放題コンテンツを期間限定導入、追加で中高生向けの読み放題も試験導入する。							

内 部 評 価 (令和6年度)

総合図書館及び分館の資料収集を引き続き定期的に行うほか、限られた予算の範囲内で予約待ち人数が多い図書については毎月複本購入を実施した。また、電子図書館については、児童向けの読み放題パックを新たに導入した結果、約9,200回の閲覧があった。所蔵本の活用につながる新たなオンライン上のサービスも開始した。しかしながら、図書、電子図書ともに十分な予算の確保が難しく、資料収集の充実には不足している面があることからB評価とする。	B
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

外 部 評 価 (令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・ネットコンテンツへの取り組み等新しいジャンルへの挑戦もあり、予算に対する費用対効果面では十分な成果があったと考える。 ・むしろ、限られた予算の範囲内で、できる限りのサービス向上に努め、成果を挙げているものと評価できる内容であった。とくに市の重点政策でもある子育て支援の面で、図書館が採りうるアプローチがなされているようにも感じた。予算獲得に向けては、そうした成果の見える化(例えば、子育てをしている家庭とそうでない家庭とで、図書館の利用頻度や満足度が高いといった意識調査結果)が必要のように思われる。 ・限られた予算のなかで工夫されていると評価するが、予算の増額が望まれる。 	A : 2 B : 3 C : 0 D : 0
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館				項 目	図書館サービスの充実	
内 容		レファレンス(相談)サービスの充実					
事業計画	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	レファレンスサービスの実施						
令和6年度							
計画	窓口、電話、電子メール、文書によるレファレンスの利用促進を図るとともに、HPへのレファレンス事例の掲載について周知を行っていく。						
取組状況	<p>総合図書館、分館において、利用者が探している情報や資料などの質問について、窓口、電話、電子メール、文書によるレファレンスを行い、必要な情報、資料を案内した。</p> <p>・総合図書館 主題別部門及び文書資料部門のレファレンス件数 23,629件(R5 24,798件)</p> <p>非来館型のサービスのひとつとして、当館のHP上で国立国会図書館のレファレンス協同データベースを活用し、全国のレファレンス事例について参照可能としており、当館取り扱い事例を新たに106件掲載した。</p> <p>また、蔵書検索システム「OPAC」内の「図書館推奨資料」では、特集展示関連の図書や中高生向けのお薦めの図書などを随時掲載している。</p> <p>令和6年度市政意識調査(図書館)において、レファレンスサービスの認知度は、31.8%であり、『月に1回以上』の利用者でも33.3%が『知らない』と回答した。市政だよりの10月15日号で、図書館システム更新の特集にあわせ、レファレンスカウンターへの相談を広報した。</p>						
令和7年度							
計画	当館HPや館内掲示等を利用し、レファレンスの周知を図っていく。 また、研修等により読書相談員のさらなる技術向上を図る。						

内 部 評 価 (令和6年度)

多様なツールで利用者対応をしており、また、国立国会図書館のデータベース上で積極的に当館のレファレンス事例を紹介した結果、累積データ数を含む総合評価が政令指定都市中第6位だった。しかしながら、レファレンスに関する十分な周知に至っていないため、B評価とする。

B

外 部 評 価 (令和6年度)

・なかなかレファレンスの周知が進まない状況であるが、世の中のAIの浸透を考えあわせ、サービスそのものの見直しが必要かもしれないと考える。(分野を特化するなど)

・レファレンスは、基本リピーターが多い。一部の利用者による利用に偏っていると思われる。広く周知することはかなり難しいと思われるが、広報の媒体の多様化も考えてよいのではないだろうか。また、レファレンスには、それなりに経験と知見が必要はらず。市の公共図書館であるため、優秀なスタッフでよいサービスが提供されていると思われるが、レファレンスサービスに対する満足度のような指標で評価することもあってよいと思う。利用層が限定的であると考え、その利用層に対して、「どの程度の高質なサービスが提供できているか」という尺度も欲しい。

・レファレンスサービスがあること自体、知らない市民は多い。機会をとらえて周知を図るとともに、体験型のプログラム(特に子ども向け)を行ってはどうか。

A : 0
B : 5
C : 0
D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館		項 目	図書館サービスの充実			
内 容	課題解決型支援の充実						
事業計画	ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行っていきます。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供						
令和6年度							
計画	効果的に、行政情報、医療関連情報などの提供やビジネス支援を行うため、関係機関と連携し課題解決支援の充実を図る。						
取組状況	<p>ビジネス支援については、定期的に中小企業診断士による起業・経営相談会を開催し、創業に関するセミナーを開催した。</p> <p>また、医療支援として、分館で医療に関する講演会を実施した。本館では九州がんセンターと連携しがん情報の常設コーナーを設置、蔵書検索システム「OPAC」内の「図書館推奨資料」においてがん情報に関する本を紹介している。</p> <p>子育て支援としては、よかトピア記念財団との共催による「がいこくごおはなし会」の開催や、赤ちゃんおはなし会を「福岡市おむつと安心定期便」対象事業として実施、12月の絵本月間に合わせて、各分館で親子向けおはなし会や市立高校と連携した子ども向けイベント(人形劇、おもちゃ作り等)を実施した。</p> <p>さらに、防災、認知症、選挙、相続と遺言、税、児童虐待防止、ハンセン病などをテーマとして、市の関係部署や福岡法務局、福岡国税局と連携し図書の展示を行った他、ロビーでのパネル展示や資料の配付を行った。国連寄託図書館の独自企画としてSDGsに関する展示を行った。</p> <p>なお、電子図書館では、医療・介護、健康、子育て、防災、マネー管理などさまざまな分野において、課題解決支援につながる特集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業・経営相談会 本館66回 相談31件(R5 71回、30件) 分館60回 相談27件(R5 60回、22件) ・創業セミナー 分館4回 参加 90人 ・医療に関する講演会 分館4回 参加103人 						
令和7年度							
計画	生活に直結する課題に関する情報を提供するため、市の関連部署や県、国の機関等と連携するほか、独自企画も実施しながら利用者の課題解決支援を図る。						
内 部 評 価 (令和6年度)							
赤ちゃんおはなし会を「福岡市おむつと安心定期便」事業の一つとして、関連部署と調整し実施したことや、県、国との機関等との連携に加え、独自企画により課題解決支援について着実に取り組みため、A評価とする。							A
外 部 評 価 (令和6年度)							
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に関しては、乳幼児に限らず、何らかの取り組みが望ましい。 ・目標値のない業務であるとの事、目標値がないため達成の有無が評価できず、実績をもってB評価とする。 ・図書館は市政の発信拠点として、大いに可能性がある機能と思う。そのポテンシャルを生かそうとする取り組みは評価できるし、他部署他事業との連携によってもっと可能性を試してほしい。 ・ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決支援イベントに積極的に取り組まれている。さらに、プレ両親向けのマタニティスクールで、絵本の楽しさ大切を学べる機会があればと思う。 							A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		さまざまな情報を求める市民に応える図書館			項 目		地域読書活動への支援	
内 容		団体貸出先の拡大						
事業計画	地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。							
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	団体貸出先の拡大							
令和6年度								
計画	配本件数の増加に対応できるよう効率的な配本を行い、未登録の公民館や放課後児童クラブ及び地域文庫、高齢者施設等への団体貸出先の拡大を図るとともに、市民局と連携して公民館へのサービス周知を図る。							
取組状況	登録団体に対し、新着本の紹介等を行い、貸出図書の利用の促進に努めるとともに、区ごとの配本先を基準に配本ルートを作成し、効率的な配本を行った。 読書活動ボランティア講座等の催事機会や公民館に団体貸出制度の案内を行うなどの取り組みを行い、登録団体は14団体増加した。 ・団体貸出の登録団体： R6年度末時点 484団体（R5年度末時点 470団体） 公民館の登録は82館で4館増加し登録率54%、放課後児童クラブの登録は132か所で増減はなく登録率94%となっている。							
令和7年度								
計画	未登録の公民館や放課後児童クラブ及び地域文庫、高齢者施設等への団体貸出先の拡大を図り、特に、公民館についてのサービスの周知方法等について検討し、実施する。							

内 部 評 価 （令和6年度）

<p>効率的な配本対応を行い、また団体貸出先の拡大に取り組み、令和5年度と比べ、団体貸出の登録団体は14団体増えたが、地域サービスの拠点と考えられる公民館の登録団体は82館、登録率は54%であることから、B評価とする。</p>	B
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

外 部 評 価 （令和6年度）

<ul style="list-style-type: none"> ・団体登録率はまだまだではあるが、相手先の状況もあり、限界にあるのではないかとと思う。 ・公民館もそれぞれ地域的特性も様々なため、普及するのも難しいと思う。そして、これからますます登録率を高めるのは難しくなると思うため、広報するだけでなくプッシュする方向での働きかけも必要になる。来年度の取組状況には、登録していない公民館でどのような問題があって、その問題に対してどのように対応したか、そしてその成果に関する自己評価がほしい。 ・公民館の登録は増えているものの、54%にとどまっているためB評価とした。何が障壁となっているのか調査し、団体貸出を公民館がさらに利用しやすくなるよう努めてほしい。 	<p>A : 0</p> <p>B : 5</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館		項 目	地域読書活動への支援			
内 容	地域読書活動への支援						
事業計画	地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<div style="text-align: center;"> </div>						
令和6年度							
計画	地域文庫及びボランティア希望者と、公民館等をつなぐ取り組みとしての地域文庫マップの配布を行うなど、ボランティアの活動を支援するとともに、各公民館と連携し、スタンダード文庫の一層の活用を図る。						
取組状況	<p>地域における読書ボランティアの主要な活動拠点となっている公民館や学校について、活動状況等を確認し、定期情報紙「子どもと本の日通信」や「学校図書館支援センターだより」をホームページ等で発信するとともに、地域文庫の活動拠点や活動状況等を紹介した地域文庫マップを作成配布し、各文庫の相互交流やボランティア活動希望者と文庫団体をつなぐことなどに役立てた。</p> <p>また、新設の西都北公民館にスタンダード文庫100冊を配布するとともに、希望する公民館に講師を派遣し、スタンダード文庫を活用した親子対象の読み聞かせ講座を実施した。</p> <p>・読み聞かせ講座 20館、314人参加（R5 24館 484人参加）</p> <p>一部分館においては、公民館や高齢者施設と連携して、出張おはなし会を行った。</p>						
令和7年度							
計画	「読書活動ボランティア講座」の実施等により、地域における読書ボランティア活動を支援するとともに、新設公民館へのスタンダード文庫の配布や公民館と連携して「スタンダード読み聞かせ講座」の実施等によるスタンダード文庫の活用を図る。						
内 部 評 価 （令和6年度）							
公民館や学校の活動状況等の情報発信、地域文庫マップの配布、スタンダード文庫を活用した親子対象の読み聞かせ講座の実施等を計画通りに行い、地域読書活動への支援ができたことからA評価とする。							A
外 部 評 価 （令和6年度）							
<ul style="list-style-type: none"> ・相手先のニーズあつての事業であるが、準備・対応面では計画通り実施されたと考える。 ・計画通り事業を行ったことは評価できるところであるが、読み聞かせ講座の実施対象館の数と参加者数が昨年度より減少。1館当たりの参加者数も減少している点をもって、評価は割り引かざるを得ないか。 ・公民館でのスタンダード文庫読み聞かせ講座（乳幼児と保護者向け）は高評価。さらに上の年齢の子どもたちに本を手渡すための取り組みが必要である。各区や校区など身近な場所で、親子向けや読書ボランティア向けの講座を講師派遣して行ってはと考える。 							A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館		項 目	市関連施設の図書室の相互協力			
内 容	市関連施設の図書室の相互協力						
事業計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	相互協力の実施						
令和6年度							
計画	議会図書室や福岡市科学館、ふくふくプラザ各図書室との相互協力を行い、利用者サービスの向上を図る。						
取組状況	<p>議会図書室を通じ、市議会議員及び行政職員の調査研究支援のため図書の貸出を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数 37冊 (R5 58冊) <p>ふくふくプラザとは、相互の図書資料の返却協力を継続して行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくふくプラザでの返却冊数 16,627冊 (R5 17,037冊) <p>科学館において、図書資料の貸出・返却を継続するとともに、市政だより10月15日号で科学館での貸出案内を周知した。また、R7年9月から中央図書館が長期休館することにあわせ、科学館の利用者増への対応としてサイエンスナビ窓口への読書相談員応援派遣や、科学館でのおはなし会の実施に向けて、協議を重ねた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学館での貸出冊数 50,662冊 (R5 51,913冊)、返却冊数 50,067冊 (R5 52,206冊) 						
令和7年度							
計画	<p>福岡市科学館、ふくふくプラザ各図書室及び議会図書室との相互協力を行い、利用者サービスの向上を図る。</p> <p>科学館については、中央図書館長期休館中において、相互協力、支援を行いながら、円滑な図書サービスの提供を行う。</p>						

内 部 評 価 (令和6年度)	
それぞれの市関連施設との相互協力での連携が継続実施できており、また、科学館については、中央図書館休館期間中における対応について協議を進めており、調整が整ったことから、A評価とする。	A

外 部 評 価 (令和6年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・他の連携先はあるのかわからないのかは不明ながら、標記の事業については十分な成果があったと考える。 ・今後起こりうる問題への対応について、適時適切な措置対応が採られていると評価できる。とくに中央図書館の長期休館に伴う対応は周辺住民のサービス水準を低下させることもなく、むしろ、科学館の立地条件の良さから、改めて図書館のサービスを認知させる効果があったのではないかと思量する。 ・市関連施設との相互協力を継続されていることは評価できるが、貸出、返却とも冊数が減少してきているためB評価とした。立地のよい科学館との連携をさらに強化し、図書館へつながる取り組みを期待している。 	A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館			項 目		子どもへの読書普及	
内 容		モデル児童図書リストの配布						
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。							
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	作成・配布							
令和6年度								
計画	令和6年度版のモデル児童図書リストを作成し、関係機関（保育園、小学校、公民館等）へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館での常設展示や1階本の森での企画展示、12月の絵本月間期間中の各館での広報などを行い貸出を促進する。 また、保護者（予定含む）等を対象に、司書が選んだ本などを基に、本の読み聞かせや本の選び方など、すぐに実践できる体験的な講座を実施し、子どもの読書活動推進の取り組みを推進する。							
取組状況	モデル児童図書リストに掲載した図書の常設展示及び企画展示を行うとともに、モデル児童図書リスト（前年の受入図書の中から選定した本）を配付（約3,000部）し、カウンターでのレファレンスのツールとしても有効に活用した。 また、各館にて保護者等を対象にした本の読み聞かせや、本の選び方など、すぐに実践できる内容の講座を実施した。 [参考]令和6年度版モデル児童図書リスト掲載図書の、年間1冊当たりの貸出回数の平均 ・幼児用 236回 ・小学1・2年用 201回 ・小学3・4年用 114回 ・小学5・6年用 34回							
令和7年度								
計画	令和7年度のモデル児童図書リストを関係機関（保育園、小学校、公民館等）へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館での常設展示や1階本の森での企画展示、12月の絵本月間期間中に各館で広報などを行い貸出を促進する。 また、保護者等を対象に、実演を交えながら絵本の楽しさやおうちでの読み聞かせのポイントを伝える講座を実施し、子どもの読書活動の取り組みを推進する。							

内 部 評 価 (令和6年度)

モデル児童図書リストの配付、モデル児童図書の展示や企画展示、紹介等を計画通り行い、掲載図書の貸出を促進することができたことから、A評価とする。	A
-------------------------------------------------------------------------	---

外 部 評 価 (令和6年度)

<ul style="list-style-type: none"> 計画通りかつ十分な内容と考える。 計画、取組状況を見る限り、計画通り、堅実に事業が実施されたものと評価する。一方で、小学校高学年への遡及の足りなさが目立つため、今年度は、細かなターゲティングも必要になるか。 モデル児童図書リストについては、計画通り、内容も十分である。予算の確保に努め、子どもたちが手に取りやすいよう、蔵書を確保(入れ替えを含めて)してほしい。 	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館				項 目		子どもへの読書普及	
内 容		子どもの貸出カード作成推進							
事業計画	図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。								
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	検討、協議	実施							
令和6年度									
計画	図書館催事や講座、団体貸出、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出カードの作成を促す声かけに努める。特に、各館で来館増が期待される小学生の図書館見学や、各小学校に動画での実施を依頼する小学生読書リーダー養成講座において貸出カードの作成勧奨を行う。								
取組状況	小学生の図書館見学や、各小学校に実施を依頼している動画等の資料による「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した、小学生読書リーダー養成講座(35校527名が参加)等において、貸出カードの作成案内を行った。また、学校図書館支援センターによる学校図書館訪問時に、図書館の利用案内とともに貸出カードの作成案内を行った。 また、令和6年12月から総合図書館の学習室利用において、利便性を高めるため貸出カードを利用したオンライン予約を開始し、それに伴い中高生の貸出カードの新規登録が増加した。 ・令和6年度末時点 個人登録者数(総合・分館計) 児童・生徒 63,401人(R5 62,091人)								
令和7年度									
計画	図書館催事や講座、団体貸出等の機会を捉え、図書館の貸出カードの作成を促す声かけに努める。 また、学校訪問や小学生の図書館見学、各小学校に動画での実施を依頼する小学生読書リーダー養成講座において、学校と連携して貸出カードの作成勧奨を行う。								
内 部 評 価 (令和6年度)									
小学生の図書館見学や小学生読書リーダー養成講座の小学校での実施などの機会を捉えて、貸出カードの作成案内に努めたとともに、学習室利用と連携して貸出カード作成を推進したことから、A評価とする。							A		
外 部 評 価 (令和6年度)									
・貸出カード作成から、図書館の利用へどうつながるか、が課題。 ・計画通りかつ十分な内容と考える。 ・動画を使ったカード作成の誘導方法などにより着実に登録者数が増えている点、非常に効率的な方法で成果を生み出しているものと評価できる。 ・地道な取り組みを継続され、少しずつ登録者が増加していることからA評価とした。							A : 5 B : 0 C : 0 D : 0		

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		子どもと本をつないで豊かな心を育む 図書館			項 目		子どもへの読書普及	
内 容		ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化						
事業計画	広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。							
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	広報・イベント・資料収集の充実							
令和6年度								
計画	ヤングアダルト層を対象とするイベントの実施や、電子図書館やHPを活用してヤングアダルト向けの図書を紹介することで、図書館の利用促進につなげて行く。							
取組状況	高等学校ビブリオバトル福岡県大会は参加数が昨年の16校から9校に減少したため参加校が一堂に会して予選から決勝までを行う方法に変更した結果、一体感と活気にあふれる大会となった。大会終了後には参加校生徒等と読書相談員との交流会を設け、ヤングアダルト向けの図書を紹介した。 中学生・高校生を対象としたSDGsに関するワークショップでは、グローバルな活動を行う大学生の発表の後、仮想の村の被災地復興について解決策を検討した。 電子図書館においてはヤングアダルト向けの選書に毎月取り組み、かつ同層向けの特集を組んだ。 また、HPの「図書館推奨資料」にはヤングアダルト向けの図書を定期的に掲載している。							
令和7年度								
計画	イベントや電子図書館、HPを活用してヤングアダルト向けの図書を紹介する。とくに電子図書館においてはヤングアダルトに向けての読み放題パックを導入する。また、引き続き高等学校ビブリオバトル福岡県大会を実施することでヤングアダルト層の図書館利用促進につなげる。							

内 部 評 価 (令和6年度)

ヤングアダルト向けの図書を、紙及び電子媒体で収集し、イベントや電子図書館、HPなどさまざまな手段で情報提供しており、同層における読書普及に取り組んでいるためA評価とする。

A

外 部 評 価 (令和6年度)

・計画通りかつ十分な内容と考える。

・中学生・高校生を対象としたSDGsに関するワークショップが実施した取り組みが、目的の「中高生に訴求する」結果になるという点が若干不明なところがある。中高生も趣味趣向、考え方も多種多様で同ワークショップは一部の中高生にしか訴求できないのではないか。事業は計画通り進んでいることから、その点は評価できるが、目的に対するイベント等に偏りはないだろうか。

・工夫をこらしてイベントや、資料収集の充実、周知に取り組まれていると思うが、一部の読書好きの中高生向けの枠を超えていないと推察される。一般の中高生が興味をもって多数参加が見込まれるワークショップや展示などを企画し、関連の本を使ったり展示してアピールすることはできないか。

A : 3

B : 2

C : 0

D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館			項 目		子どもへの読書普及	
内 容		読書活動ボランティア講座の強化						
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。							
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	読み聞かせ講座の実施							
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施							
令和6年度								
計画	令和6年5月～6月に、絵本の読み聞かせコース(定員60名)を実施する。 講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。							
取組状況	令和6年5月～6月に絵本の読み聞かせコース(定員60名)を実施し、8日間で207名の参加があった。講座受講者には、福岡市内で活動している文庫団体の活動拠点及び活動状況を掲載した地域文庫MAPを配布し情報提供を行った。							
令和7年度								
計画	令和7年6月～7月に、絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコース、2月にスキルアップコースを実施する。 講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。							

内 部 評 価 (令和6年度)	
絵本の読み聞かせコースを計画通り実施し、講座受講修了者に、地域文庫MAPを配布することで、地域での活動に繋がるよう支援を行った。計画通りではあるが、工事や図書館システム更新などの関係上、読み聞かせコースのみの開催とせざるを得ず、スキルアップに繋がる複数のコース開催ができなかったことから、B評価とする。	B

外 部 評 価 (令和6年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・コース開催の面で業務の未達があった。 ・内部評価の結果は、至極適切な評価だと思われる。現在進行形の事業であり、途上でもある事業であることを考慮して、敢えてA評価としていない点は、事業の進捗度という点でBであったとしても、高く評価できる姿勢であると考え。 ・絵本の読み聞かせコース、ストーリーテリングコースとも、計画通り、十分な内容と高評価である。地域文庫のMAPを配布するだけで、地域活動の参加につながっていくのか、疑問である。 	A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館		項 目	学校図書館への支援			
内 容	学校図書館支援センターの充実						
事業計画	前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。 ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 ・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援						
	学習支援図書の貸出						
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供						
令和6年度							
計画	学校現場の意向、要望に沿った支援及び定期的な支援をすすめるとともに、学校司書未配置校の支援、新任司書への研修支援、令和7年4月予定の新設校の計画段階からの助言、読書に困難がある児童・生徒のための資料の貸出を進めるなど事業の充実を図る。						
取組状況	令和6年度は91回の学校訪問を実施するとともに、88件のメール等相談に対応した。小学生用の学習支援用図書貸出については、55校から152回の利用があり5,244冊の貸出を行った。中学生用の学習支援用図書貸出については、1校から2回の利用があり、37冊の貸出を行った。 また、百道松原中学校(令和7年4月新設)の初期購入図書の選書及び図書館内レイアウトの作成等を行った。 学校司書の新規採用者研修及び全体研修会に講師として参加し、講義及び支援内容の説明等を行った。 市内小学校5・6年生を対象に「小学生読書リーダー」に認定する「小学生読書リーダー養成講座」について、学校と連携し「福岡TSUNAGARU Cloud」により動画等の資料を配信し、35校で実施があり、受講者527名全員を認定した。 特別支援学校については、おはなし会の実演を行った。また、特別支援学校高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を作成し配付した。マルチメディアDAISYは、点字絵本やLLブック等も含め「たっちるっくセット」として小学校1校に貸出を行った。						
令和7年度							
計画	令和7年度から増員される学校司書等への助言及び研修支援を行うとともに、授業に役立つ支援用図書の充実を図る。 また、読書に困難がある児童・生徒のための資料の貸出を進めるなど事業の充実を図るとともに、元岡地区新設中学校(令和8年4月開校予定)の計画段階からの助言を行う。						
内 部 評 価 (令和6年度)							
小中学校への支援は、電話での相談や学校訪問を行い、学校司書及び学校図書館関係者に具体的な支援を実施し、各校の状況に応じた支援に努めた。また、学校訪問や研修会等の機会を活かして、学習支援用図書の貸出利用の促進に努めた。 また、令和7年4月開設校の選書やレイアウト作成に携わり助言、支援を行ったことから、A評価とする。							A
外 部 評 価 (令和6年度)							
・学校図書館の支援をする点では、十分な業務成果があったと考える。 ・子どもが増えていて、新設学校があるという福岡市特有の支援。ゼロから学校図書館のハード/ソフトの整備を支援することは、そのノウハウが承継されていないと難しいものと想像する。いずれにしても総合図書館として象徴的な役割を計画通りに実行できていることを素直に評価したい。 ・学校図書館への支援は計画通り、十分である。司書資格のない人を学校図書館へ配置するようになったが、資質向上が求められるため、さらなる支援に取り組んでほしい。							A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館		項 目	映像資料部門の充実			
内 容	図書館外施設での映像資料上映事業						
事業計画	収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	手法検討	上映事業の実施					
令和6年度							
計画	令和6年2月に行った希望調査に基づき作成した実施計画に基づき、公民館23館で上映会を開催する。上映会に活用する作品を2作品程度選定し、著作権者と交渉のうえ、ブルーレイディスク制作を行い、上映可能作品を増やしていく。						
取組状況	<p>年度当初までに申し込みがあっていた23館の公民館と、上映会の実施に向けた打合せ等を行い、計画的に事業を実施した。また、追加での申し込みもあり、令和6年度は、33館でのべ34回の上映会を開催し、のべ738人の市民の参加があった。</p> <p>またアジア映画のブルーレイディスクを2作品制作し、上映会に活用できる作品を14作品とするなど、事業の充実に努めた。</p>						
令和7年度							
計画	令和7年2月に作成した実施計画に基づき、公民館25館で上映会を開催する。上映会に活用する作品を選定し、著作権者と交渉のうえ、ブルーレイディスクを1～2作品制作し、上映可能作品を増やしていく。						
内 部 評 価 （令和6年度）							
<p>年度途中の申込も積極的に受け入れた結果、当初計画より10館増の33館で上映会を開催し、多くの市民にアジア映画に触れる機会を提供することができ、参加者の満足度も高かった。</p> <p>著作権者との交渉を進め、新たに2作品ブルーレイディスクを制作し、上映可能作品のラインナップを増やすことができた。</p> <p>以上のことからA評価とする</p>							A
外 部 評 価 （令和6年度）							
<p>・計画通りかつ十分な内容と考える。</p> <p>・福岡市総合図書館における特徴的、個性的な事業であり、上映会が間断なく行われていることを確認できた。上映館も大幅に上方修正されており、低く評価する理由はない。</p> <p>・福岡市総合図書館ならではの、大変よい取り組みであり、成果も十分である。継続してほしい。</p>							A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項 目	映像資料部門の充実				
内 容	資料展示事業						
事業計画	<p>展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。</p>						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<div style="text-align: center;"> </div>						
令和6年度							
計画	<p>ショーケース展示については、西側ショーケースを概ね年間を通して使用し、毎月の上映企画に合わせた展示を行っていく。 新たな展示エリアについては、地域の映像資料や映像以外のポスターなど紙資料を含めた展示ができるよう、ビデオライブラリーコーナーのレイアウト変更を行い、展示コーナーを新設する。</p>						
取組状況	<p>ショーケース展示については、毎月西側のケースにシネラでの上映企画に合わせたポスター等資料展示を実施した。 新たな展示エリアについては、ビデオライブラリーコーナーの移設等のレイアウト変更や展示エリアの設備工事や備品整備を年度末までに完了した。ビデオライブラリーコーナーの移設に伴い、令和7年3月からVHSビデオについて、配架方式からジャケットのファイル化方式に見直しを行い、円滑に移行できた。 シネラの上映作品を紹介するポスターやシネラニュースについて、契約の工夫により、令和6年6月版よりフルカラーとし、掲示した際目に入りやすいよう改善した。</p>						
令和7年度							
計画	<p>ショーケース展示については、引き続き西側ショーケースを年間を通して使用し、毎月の上映企画に合わせた展示を行っていく。新たに整備した展示エリアについては、「シネマギャラリー」としての準備を進め、10月までに各種資料の展示を開始する。</p>						
内 部 評 価 （令和6年度）							
<p>ショーケース展示については、予定どおりに毎月西側のケースにシネラでの上映企画に合わせたポスター等資料展示を実施し、またシネラポスターの改善により、作品のより効果的なPRができた。 新たな展示エリアについては、展示の開始にはまだ時間を要するものの、展示エリアの設備工事や備品整備を予定通り年度末までに完了したため、A評価とする。</p>			A				
外 部 評 価 （令和6年度）							
<p>・計画通りかつ十分な内容と考える。 ・計画していた活動が滞りなく実行された印象。今年度も上映機能は総合図書館における特徴的な機能であるため、新たに整備した展示エリアの充実に向け、引き続き進めてほしい。 ・計画通りに進んでいる。さらに、西側のショーケースのリニューアルも検討されたい。</p>			A : 5 B : 0 C : 0 D : 0				

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館			項 目	文書資料部門の充実		
内 容	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実						
事業計画	文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	デジタルデータ化・活用の推進						
	デジタルデータの作成・蓄積、ホームページ掲載・展示・市民提供等						
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)						
取組状況	検討	システムの拡張・情報提供					
令和6年度							
計画	「古文書だより」の刊行、ホームページ「コレクション紹介」及び古文書資料収蔵品データベースの更なる充実を図る。 行政資料(写真フィルム)のデジタル化を進め、将来の公開に向けた準備を行う。						
取組状況	古文書資料の情報発信のため「古文書だより」第4号を刊行し、「古文書資料収蔵品データベース」に1,148点の目録データを追加掲載した。併せて1,599点の古文書資料のデジタル化を進めた。 行政資料(写真フィルム)については、市の広報担当課等が撮影した写真フィルムを図書館への寄贈分として所蔵している。これまでは利用申請があった写真のみデジタルデータ化を行っていたが、今後の需要に応えられるよう、所蔵フィルムをスキャンし整理を行った。 ・フィルムのデジタルデータ化 29,057件 (R5 8,860件) また、「蒙古襲来750年」をテーマにした西新校区自治協議会主催の展示に『蒙古襲来絵詞(複製)』を貸出し、併せて館内での関連パネル展示及びホームページでの資料紹介を行った。						
	令和7年度						
計画	古文書資料や行政資料(写真フィルム)のデジタル化を進めるとともに、ホームページ「コレクション紹介」及び古文書資料収蔵品データベースの更なる充実を図る。「古文書だより」の刊行と古文書資料のパネル展示により文書資料への理解を深める。 マイクロフィルムの製造中止(令和7年12月予定)に向けた、対応策を検討し、関係部署と調整を行う。						
内 部 評 価 (令和6年度)							
古文書資料については、計画通り内容の充実に取り組んだほか、校区自治協議会と連携して展示を実施することができた。写真フィルムのデジタルデータ化について、1コマずつスキャンするという手間を要する作業を着実に進め、数多くデータ化しており、将来的な利便性向上に資することから、A評価とする。							A
外 部 評 価 (令和6年度)							
・重要性の高い業務だと感じた。デジタル化での保存は汎用性にメリットがあると聞くので、ぜひ活用面での展開の広がりを期待する。 ・デジタルデータ化された写真フィルムは、潜在的にニーズが多いものと思われる。デジタルデータ化の推進は今後も間断なく続けることはもちろんだが、このようなデータは利用がなされることで意味を持つ。今後は、利用申請を促すような広報にも努めてもらい、利用申請件数など成果指標を目標として設定するよう求めたい。 ・データベースの充実も計画通り順調に進み、「古文書だより」の刊行、自治協議会と連携して展示を実施など、理解を深める取り組みもされていることからA評価とした。							A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館		項 目	文書資料部門の充実			
内 容	文学館の利用拡大						
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	総合図書館HP等での情報提供の充実						
	企画展、常設展、文学講座等の情報提供の充実						
	企画展の開催、広報強化						
	企画展開催・報道機関等による広報強化						
	福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築						
取組状況	構築	情報提供					
	令和6年度						
計画	企画展として、福岡市文学振興事業実行委員会に諮りながら5年度から準備を進めてきた展示を行う。国文学研究資料館との共同による「上野英信自筆資料・原稿」のデジタル公開に併せ、当館収蔵の上野英信資料収蔵品展示を行う。また常設展示、関連講座、定例文学講座を開催する。						
取組状況	<p>企画展として「夢野久作-零の風景-」を開催し、11月9日～12月15日まで、遺族等の協力を得て貴重な資料を展示した。関連事業として、夢野久作を生んだ杉山家とインドの関係を紹介した「インドと杉山家三代」のショーケースでの展示、代表作である「ドグラ・マグラ」のシネラでの上映、担当学芸員による見どころ解説「ギャラリートーク」を実施した。</p> <p>・企画展示「夢野久作-零の風景-」入場者 5,317人 関連事業 映画「ドグラ・マグラ」167人、ギャラリートーク 3回、延べ32人 常設展示として、①デジタルアーカイブ公開を記念して、上野英信の特に貴重な原稿資料を展示した「上野英信の仕事1・絵ばなし」、②ゆかりの作家2人の生涯を辿る「福岡ゆかりの作家の節目 檀一雄と梅崎春生」を開催した。</p> <p>・常設展示 入場者 ① 3,241人 ② 7,602人 定例文学講座として、シネラでの企画上映「安部公房生誕100年:安部公房と映画」関連イベントと位置づけ、「安部公房と上野英信-福岡・炭鉱を中心に」を開催し、文学関連だけでなく映画の観客の集客に繋がりが108人が参加した。</p>						
	令和7年度						
計画	<p>隔年にあたる8年度開催予定の企画展の準備を進めるとともに、6年度開催の企画展「夢野久作-零の風景-」の図録の発行を行う。</p> <p>常設展示として、前期に「海の歌う日-伊藤野枝の子どもたち」を行うほか、常設展関連講座や定例文学講座を開催する。</p>						
内 部 評 価 (令和6年度)							
<p>企画展の夢野久作は人気も高く、報道機関にも取り上げられるなど好評を得た。シネラとの連携を行うことで、企画展関連上映や定例文学講座では多くの参加者を集め、また、2つの常設展示では福岡ゆかりの作家を紹介できた。しかしながら、企画展開催に合わせた図録の発行が、展示資料の調整に時間を要し、開催後の7年度となることから、B評価とする。</p>						B	
外 部 評 価 (令和6年度)							
<p>・成果はあったようだが、それぞれの企画内容や動員数の評価は難しいと感じた。業務も実施遅れがあったとの事でB評価とする。</p> <p>・夢野久作の企画展は、いい意味で、いわゆる一般的な図書館の事業領域を超えている印象。「図録未発行」をもってB評価となつてはいるが、野心的な取り組みでもあるため、困難は伴うだろうが、引き続き、総合図書館利用のフックとなる取り組みと位置づけ、継続してニーズの高い企画展を行ってほしい。</p> <p>・人気の高い作家の企画が行われていることは評価できるが、若い世代が興味をもって足を運んでくれるような企画を望む。</p>						A : 1 B : 4 C : 0 D : 0	


令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営		項 目	図書館運営の強化			
内 容	運営方法の検討						
事業計画	現在指定管理制度を導入している総合図書館および東図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	総合(建物管理のみ)、東(運営)						
	早良南(仮称)						
令和6年度							
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを引き続き実施し、必要に応じて協議するなど、満足度の高い、適切な運営に反映するよう努める。						
取組状況	指定管理者への定期的なモニタリングを引き続き実施した。いずれの指定管理者も一定の管理経験年数を積み重ねていることから、適切な管理が実施されており、図書館の魅力を発信する企画やイベントなど、企業がもつノウハウが活かされた運営がなされていた。 利用者アンケートにおいても高い満足度が確認できた。						
令和7年度							
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを引き続き実施し、適切な管理運営を行いながら、誰もが利用満足度の高い図書館を目指す。 令和8年度から指定する総合図書館、東図書館及び早良南図書館の事業者を公募し、指定管理候補者を選定する。その後、議会の議決を経て、次期指定管理者を決定する。						
内 部 評 価 (令和6年度)							
各指定管理者の事業報告やモニタリング等を基に、指定管理運営についての利用者アンケートや満足度の調査結果を検証したところ、いずれの図書館においても高い満足度が得られており、適正な運営ができています。 特に、各指定管理者において共通して、利用者ニーズに真摯に耳を傾け、指定管理者が持つ蓄積経験から生じるノウハウを効率的に活用し、可能な限り対応しており、図書館サービスの向上に貢献していることから、A評価とする。							A
外 部 評 価 (令和6年度)							
<ul style="list-style-type: none"> 計画通りかつ十分な内容と考える。 運営方法として指定管理者制度を活用することに問題はない。結局、指定管理者が実施した図書館全般の運営全体が、この評価とリンクするものと考えられるため、(21)以外の事業の評価の平均と同じ評価としたい。そのため、Aとした。ただし、指定管理者へ運営を任せる場合においても、市当局が各事業に対する要求水準を示し、事業者とともにKPIを設定するなどの対応がほしい。 開館時間を延長するなど、利用者にとってメリットのある運営がなされており、満足度も高い。今後も定期的な調査、見直しを行い、適正な運営を期待する。 							A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項 目	図書館運営の強化
内 容	図書館ボランティアとの共働の推進		
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和7年度		
<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">活動内容の追加・実施</div> </div>			
令和6年度			
計画	ボランティア活動機会の増加を図るため、活動範囲の拡大について検討する。		
取組状況	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、停止していた新規募集を再開したことから、図書館ボランティア登録者が増加した。また、前年度に比べ、活動実績も伸びた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者 89人 (R5 49人) ・活動実績 2,578時間 4.85人／日 (R5 1,982時間 3.67人／日) <p>活動内容は「図書資料の修復」が1,958時間(76%)で最多、次いで「2階RC1の書架整理」が114時間(4%)となっている。</p> <p>その他、図書館でボランティア活動を希望する方々の活動機会を増やすため、活動範囲を分館に拡大するよう協議・調整を行った。</p>		
令和7年度			
計画	ボランティア活動機会の増加を図るため、活動範囲を分館に拡大する。		
内 部 評 価 (令和6年度)			
<p>新規募集の再開等により、コロナ前の活動実績(R元年度活動実績 登録者74人 2,070時間 4.35人／日)を大幅に超え、図書館ボランティアに市民活動の場を提供できた。</p> <p>しかしながら、活動範囲の拡大について調整を進めたものの、実現には至っていないため、B評価とする。</p>			B
外 部 評 価 (令和6年度)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ひとまずコロナ以前の実績を超えたことは十分に評価できると考える。次のステップに期待する。 ・内部評価は妥当であると考え。本来であれば、総合図書館以上に地域住民に密着した場にこそ、ボランティアの力を借りるべきであると考えためである。登録者数の伸びは大いに評価されるものの、計画に対して途上という点をもって、B評価を妥当な評価とする。 ・ボランティア活動の時間、人数とも増加してきていることは評価できる。活動範囲の拡大は、他の図書館での取り組みを調査して慎重に行ってほしい。 			A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営		項 目	図書館運営の強化			
内 容	職員の育成及び技術向上						
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<div style="text-align: center;">  </div>						
令和6年度							
計画	全体研修については、引き続き福岡市職員、図書館職員としての基本となる研修のほか、防災研修など年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、集合研修、オンライン研修、併用の研修を有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。 また10月からの図書館システムの更新に当たり、円滑なサービス提供ができるよう、更新後のシステムの基本操作に加え、新しいサービス提供(AI探索等)に係る研修を、各分館や連携図書室も含めた職員を対象に実施する。						
取組状況	図書館新任者研修のほか、公務員倫理研修や人権研修などの基本的な研修を実施した。総合図書館では、館全体での防災研修を年2回実施し、防災意識向上に努めた。また、職員のさらなる資質向上のため、全体研修に関するアンケートを実施し、次年度以降の研修内容を検討した。 専門研修では、全国図書館大会、図書館基礎講座、地区別研修会などへの派遣及び県立図書館のレファレンス、資料整理保存、児童図書館専門講座などのテーマ別研修の受講、オンラインによる講習会参加などを奨励し、職員の専門知識の習得に努めた。 ・主な研修への参加状況：全国図書館大会(長崎市)1名、レファレンス研修(県立図書館)1名、資料整理保存研修(県立図書館)4名 図書館システムの更新に当たり、操作方法が大きく変更となったことから、操作研修を複数回実施し、円滑なサービス提供ができるよう ・基本研修(2コース) 計23コマ 延べ185人、専門研修(6コース) 計12コマ 延べ84人						
令和7年度							
計画	全体研修については、引き続き福岡市職員、図書館職員としての基本的な研修や防災研修など、年間を通じて計画的に実施していくとともに、資質向上のため外部講師による不当要求防止研修を予定。 専門研修については、集合研修、オンライン研修、併用の研修を有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。 また、ホームページのリニューアルに伴い、ホームページ更新を行う職員を対象に、操作研修を実施する。						
内 部 評 価 (令和6年度)							
全体研修及び図書館システム操作研修については、計画どおりに実施することができた。また、参加可能な範囲で専門研修への派遣を行ったことから、B評価とする。							B
外 部 評 価 (令和6年度)							
・予算など、難しい点があると思うが、司書のスキルアップに役立つ研修・講習参加に便宜を図ってほしい。 ・計画通りかつ十分な内容と考える。課題の多い分野かと思うがまずは、予算内での最大成果を目指した上での成果を評価する。 ・評価が難しい。もともとKPI(目標達成度を図るための指標)としてどの程度の人数の履修、および履修率を目指していたか、まず目標に対する進捗度がなければならぬと思う。AではなくなぜBなのか？この点について内部評価のコメントで明確にしてほしい。 ・専門性の高い、長期の研修が必要な部署もあると思う。専門職の育成も含めて、検討してほしい。							A : 2 B : 3 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営		項 目	図書館運営の強化			
内 容	施設の有効活用などによる財源確保						
事業計画	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。						
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
令和6年度							
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、引き続き財源確保における手法等について検討する。						
取組状況	駐車場の運営について、駐車場用地の土地貸付収入等により、約600万円の歳入があった。 ふくおか応援寄付による図書館への寄付金については、SNSや様々な機会を活用し広報に努め、約1100万円が寄せられた。 ホームページ上でのバナー広告主の募集について、令和5年度から引き続き図書館独自に募集して財源確保に取り組んだが、契約には至っていない。						
令和7年度							
計画	駐車場の令和8年度以降の運営管理について、将来的にも安定的な事業として継続させていくことを目的に、市の直営化への見直しを行う。 また、寄付金制度のPRに努めていくとともに、引き続き財源確保における手法等について検討する。						
内 部 評 価 (令和6年度)							
駐車場運営では前年比で約103%の収入増、ふくおか応援寄付金は前年比で約114%の寄付金額増となり、新たな財源確保の取組はできていないものの、一定の成果が出てきていると判断されることから、B評価とする。							B
外 部 評 価 (令和6年度)							
・努力されていると思う。 ・計画通りかつ十分な内容と考える。他の手段の検討もぜひ進めてほしい。 ・Bはかなり控えめな印象。前年をいずれも大きく上回っているため、Aでよいと思う。新たな財源確保は言うは易し。そもそも達成が難しい目標だと思う。クラウドファンディングなど活用できないか。 ・駐車場運営、映画フィルム貸与料、ふくおか応援寄付による寄付金、いずれも増額しているため、A評価とした。							A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和6年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像		効率的で効果的な図書館運営			項 目	情報発信の推進		
内 容		情報発信の推進						
事業計画	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。							
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	検討	実施						
令和6年度								
計画	効率的で効果的な広報を目指し、ホームページおよびSNSの運用方法の見直しを含めた改善策を探りながら、情報発信を行う。また、市の文化施設を中心に、展示やイベントの連携を今後も積極的に行い、情報の共有や拡散を行う。							
取組状況	他施設と情報交換を行って連携展示を推進し、他施設との相互リポストなどから情報発信・拡散を行った。図書館の開館情報やイベント情報等も、ホームページやSNSを通して発信した。また、パブリシティによる情報発信も行った(報道機関への資料提供5件に対し、報道又は掲載件数5件)。 ・X : 投稿回数 476回、インプレッション数 718,502回 ・映像専用のフェイスブック : 投稿回数 146回、インプレッション数 13,787回 ・媒体ごとの登録者数 : X 3,318人、フェイスブック 544人、メルマガ 671人 (R5 X 2,771人、フェイスブック 481人、メルマガ 634人) また、より多くの方に情報が拡散されるように、広報戦略室経由での広報(X、LINE、自治体情報サイト等)も開始した(9回)。 ホームページの7年度の再編、見直しに向けて、館内での調整、関係部署との協議を行った。							
令和7年度								
計画	イベントや図書館サービスの案内を行う「総合図書館ホームページ」と、映像ホール・シネラの上映予定、作品内容掲載をしている「うえぶシネラ」を再編し、スマートフォン表示や、ウェブアクセシビリティへの対応などを実施する。 市施設との連携含め、積極的な情報発信を行う。							
内 部 評 価 (令和6年度)								
広報戦略室のツールを活用した広報を開始し、これまで図書館を利用してこなかった層にも情報が届くように工夫を行った。他施設との連携展示を推進し、相互リポストなどから情報発信・拡散を行い、インプレッション数も増加しており、SNSでの登録者も着実に増えてきた。 また、課題となっていた、ホームページのウェブアクセシビリティ対応などに取り組む準備が進んだことから、A評価とする。							A	
外 部 評 価 (令和6年度)								
・計画通りの業務進捗があり、成果も少しずつ上がっている状況だが、ネット関連の数値はインパクトを出すには、桁が違うのかもしれないと感じる。またこの分野は日々変化する事も多いので、ブラッシュアップを含め推進することが重要かと思う。 ・非常によい取組であると評価する。いくらよい選書、よい本、よい活動を行っていても、認知されなければ価値がないとも言える。その点で、SNS活用は現在必須の広報手段で、その成果も十分に出的ように思われる。 なお、書籍は顔である表紙も重要。写真共有SNS(インスタなど)の活用も考えられてよいのではないか。 ・計画通り進んでいることから、A評価とした。							A : 4 B : 1 C : 0 D : 0	

○新ビジョンの現時点での振り返り

成果指標である「図書館サービスの満足度」は計画当初から順調に上昇しており、コロナ禍で一旦下降するも、その後も安定して上昇し、令和5年度以降は目標値90%を達成できている。

それぞれの事業別評価についても、全般にわたり、概ね計画どおり取り組むことができています。しかしながら、開館時間・休館日の見直しや施設の有効活用等による財源確保などは、これまでの計画の中で順次取り組んできた中で当初の目的を達成しているが、新たな取り組みをどうするか、継続して検討していく必要があるものと考えられる。

また、レファレンスサービスや団体貸出等の図書館サービスの充実については、着実に取り組みを進めているものの、サービスごとに見れば、図書館利用者の一定の認知度はあるが、普段利用しない層へはサービスが認知されていないものもあるため、サービス内容についての市民への効果的な周知が課題となっている。

これまでの評価を活かしつつ、総合図書館として、グローバル化やICT化等の新たなニーズや時代の変化に柔軟に対応しながら、新ビジョンの最終年度にあたる7年度の取り組みを引き続き推進させていき、次期ビジョンにつなげていく必要がある。

参考)新ビジョン 後期事業計画の事業別評価(内部評価)の推移

図 書 館 像	項 目		内 容	R1 ND	R2 ND	R3 ND	R4 ND	R5 ND	R6 ND
誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	1	分館の新設	A	A	A	A	A	A
		2	貸出・返却拠点等の新設	A	A	B	B	B	B
	利用時間の見直し	3	休館日、開館時間の見直し	B	A	B	B	B	B
	図書館イベントの充実	4	図書館イベントの充実	A	A	A	B	A	A
	快適な空間づくり	5	快適な空間づくり	B	B	A	A	A	A
さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	6	資料収集の充実	A	A	A	A	B	B
		7	レファレンス(相談)サービスの 充実	A	A	A	A	B	B
		8	課題解決型支援の充実	A	B	B	A	A	A
	地域読書活動への支援	9	団体貸出先の拡大	A	A	A	B	B	B
		10	地域読書活動への支援	B	B	A	A	B	A
	市関連施設の図書室 の相互協力	11	市施設の図書室との相互協力	B	B	B	B	B	A
子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及	12	モデル児童図書目録の配布	A	A	A	A	A	A
		13	子どもの貸出カード作成推進	C	B	B	B	B	A
		14	ヤングアダルト層(12歳～18 歳)への働きかけの強化	A	B	A	B	A	A
		15	読書活動ボランティア講座の 強化	A	B	B	A	A	B
	学校図書館への支援	16	学校図書館支援センターの充 実	A	A	A	A	A	A
総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の充実	17	図書館外施設での映像資料上 映事業	B	A	A	A	A	A
		18	資料展示事業	A	B	B	B	A	A
	文書資料部門の充実	19	文書資料のデジタルデータ化・ 情報提供の充実	B	B	B	B	A	A
		20	文学館の利用拡大	B	B	B	B	B	B
効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	21	運営方法の検討	A	A	A	A	A	A
		22	図書館ボランティアとの共働の 推進	A	A	A	B	B	B
		23	職員の育成及び技術向上	A	B	B	B	B	B
		24	施設の有効活用などによる財 源確保	B	B	B	B	B	B
	情報発信の推進	25	情報発信の推進	A	A	A	A	A	A

A 16 13 14 12 13 15

B 8 12 11 13 12 10

C 1 0 0 0 0 0

D 0 0 0 0 0 0